



まちづくり検討会議 ニュースレター vol.7

令和6年
11月

「茨木小学校区文化祭にて取組内容について紹介しました！」

11月10日（日）の茨木小学校区文化祭にて、「まちづくり検討会議」の取組内容について来場者に紹介しました。茨木小学校区地域協議会のメンバーには、展示ブースに来場者の呼び込みをしていただき、活動内容の紹介については学生が積極的に説明しました。地域の方の呼び込みや、学生の声掛けによってたくさんの方に展示を見ていただくことができ、コメントやグッドシールを貼っていただきました。



参加してくれた学生メンバー



展示ブースの様子



アイデアを見ていただいている様子



市長や子ども達にもコメントをいただきました♪

～茨木小学校区文化祭の展示内容について～

学生たちは、最初に茨木小学校区でまちづくり検討会議を実施している目的を伝えた上で、来場された地域の方に取組内容を説明しました。展示ブースの中には、「情報発信のアイデア募集中！」や「多様な主体との連携づくりのアイデア募集中！」と書いたコーナーを設けて、来場された地域の方からたくさんのコメントをいただきました。

また、グッドシールを用意し、「いいね！」「やってみたい！」というようなアイデアにシールを貼っていただき、ご意見をいただきました。



たくさんのご意見、アイデアを
いただきました！！

～茨木小学校区文化祭の様子～



こども達や、親子連れ、地域の方など多くの方にお話を伺うことができ、地域の方の生の声を集めることが出来ました！大学生はとても積極的に地域の方と交流していました！

～来場者の方にアイデア募集しました！～

情報発信のアイデア

- ・皆さんが学校に行ってこどもの意見を聞いてみる
- ・お店でチラシを配る
- ・地域の大学生にも参画してもらってデジタル告知ツールを作ってもらう
- ・地域行事でこどもに割引をする
- ・商店街などみんながよく通る場所にポスターを貼る
- ・若い人（子育て世代）は受け身、興味が持てる情報を！
- ・ **にぎわい亭の前の掲示板活用**
- ・ **こども会入会への積極的アピール（窓口を広めてほしい）**
- ・「面白そう！」と思った記事やページしか見ないので、面白そうなタイトルにしたら興味がわく
- ・ **先生が一言かける**
- ・ **デジタルだけではだめ、アナログとうまく組み合わせる**
- ・ QRコードを使うことで多くの人に見てもらえる
- ・ 紙の回覧は全部回りきるのに2週間かかる
- ・ 隣の市などに協力してもらい、茨木市の情報（イベントなど）を載せて集客する
- ・ シニアはスマホがさわりにくいので、動画とか音声ができるものだと嬉しい（ホームページ）
- ・ インスタはよく見る（いばフェスは大人向けで、ふるさと祭りの方がこどもは楽しそう）
- ・ 茨木のイベントを発信しているブログで募集をかける
- ・ 友達との会話
- ・ LINEは個人的なつながりになるため、Instagramで情報発信をする

多様な主体との連携づくり

- ・ **こどもが楽しいイベントを企画→親がくる**
- ・ 企業と連携（CSR的にも）
- ・ 西地区ではこども達が文化展でお茶を出してくれた
- ・ 動物とのふれあい
- ・ バザー等文化祭でお店をひらけたら！ハンドメイドなど募集をかけたら来てくれるのでは
- ・ こども会に入会すると会費がかかる
- ・ こども達に経験させてあげる場所を増やす
- ・ 卒業生の同窓会

その他

- ・ **お祭りやイベントなら参加したい！**
- ・ **こどもでもお店を出せるイベントがあれば参加してみたい**
- ・ キーホルダーづくりを出店（ものづくりの店）
- ・ 冬まつりをしたい
- ・ 「新たな」まちづくり検討会議に名前を変更したらどうか
- ・ 商店街（本通）えべっさん夜市計画中です！（1月11日）
- ・ 自治会によって温度差があって困っている
- ・ 企業では上司の意見に若者は言いづらい、受け身→地域でも同じ？
- ・ **駅前など商店街をもっと活気づけたい**
- ・ ふるさと祭りには行っているが地区体育祭には行っていない（小学3年生）
- ・ 大手町自治会のもちつき大会（300世帯）人が多く集まる
- ・ **清掃活動はお年寄りの方ばかり→お年寄りに守られた町**
- ・ こどもが手作りで何かを作ったり、お料理をしたり、お店をしたり、そのようなイベントが好き
- ・ お祭りのお店を増やしてほしい

参加者の声



立命館大学 西山さん

文化祭で地域の皆さんと話す中で、大人から子どもまで多様なアイデアを頂けたことが印象的でした。直接声を聞くことで、地域のニーズや思いがより深く伝わり、今後の活動の参考になる貴重な機会となりました。



立命館大学 平井さん

市民の方々から「頑張ってね」というお言葉をいただき、その優しさでより一層と茨木市を好きになりました。また、今後の活動に対するモチベーションを向上させることができました！これからもがんばります！